

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校

1/7

第24号

文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

3学期が始まる

新年を迎え、2020年（令和2年）が幕を開けました。今年の正月3が日は、穏やかな日が続きましたが、冬休みは有意義に過ごせましたか。冬休み前に皆さんにお願いした「どこかの場面で自分をほめる」「体調管理をしっかりする」ことはできたでしょうか。本日1月7日（火）から3学期が始まりました。3学期は1年間のまとめの学期です。1学期と2学期の反省を活かして3学期も充実した学校生活を送ってください。そして1年間の有終の美を飾ってくれることを願っています。また、3学期は新しい学年、3年生は卒業後の新しいステージに向けての準備期間とも考えられます。「3学期は、新しい学年の〇学期」として過ごすことも大切です。できていることとできていないことを整理して、できていないところは、ゆっくりでいいですから克服していってください。3学期は、1月から3月までと短く、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」といって早く過ぎていきます。特に3年生は、進路決定に向けて大切な時期ですから、なかなかゆっくり物事を考える時間がとれません。しかし、意識をして物事をじっくり考える時間もとってほしいものです。

次に私が、冬休みの間に考えたことをお話しします。年末に新聞を読んでいると次の日の朝にスムーズにスタートを切るために「明日の最初にやるべきことを前の日に整理しておくといいですよ」という記事がありました。その筆者は、前の日の終わりにやるべきことを少しだけ残しておき、残しておいたことを次の日の最初にやることでリズムが生まれスムーズにスタートできると言っておられました。筆者自身は、自分のルーティーンにしているそうです。皆さんもルーティーンという言葉を聞いたことがあるかと思いますが、何か実行するときの自分自身の形だと考えます。ルーティーンを行うことで自信をもってスムーズに行動に移れるともいわれます。皆さんも生活に各々のルーティーンを取り入れてみてはいかがでしょうか。もう一つの記事は、「未知への挑戦」は不安に思うことが多いが、思い切って一歩を踏み出すことが大切であるとの内容でした。この記事を読んだ時に私は、以前に聞いた「チャンスは、絶えず挑戦をする人にだけ訪れる」という言葉を思い出しました。現状に満足することなく挑戦を続けていってほしいと願います。「ルーティーン」と「未知への挑戦」は、一見相反するようですが、今やらなければならないことを自分のルーティーンで実行することで、未知への挑戦への気持ちも高まっていくということでは、実は根は同じように私は感じます。

3学期も全校生徒が笑顔で、元気に充実した学校生活を送ってくれることを願っています。

※裏面に1月の行事予定を載せておきます。ご覧ください。
(前号でも載せましたが、もう一度載せておきます。)